

令和6年度 技術《第1学年》年間指導計画

担当 ()

技術 教科の目標
 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術 第1学年の目標
 (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
 (3) よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

月	単元名	学習内容	評価規準	評価資料	
4	ガイダンス	1)技術と私たちの生活 2)技術分野の学習	【知】	・技術と生活の関わりから豊かな生活について考えを深めている。	【知】 A
			【思】		
			【態】	・技術の学習への見通しをもち、これからの学習について意欲をもって取り組もうとしている。	【態】 C
4 ～ 7	材料と加工に関する技術	1)製図と構想のまとめ 2)さまざまな材料の特徴、材料と環境 3)設計の進め方 4)製品の目的と機能、構造 5)材料と加工法	【知】	・木材、金属、プラスチックなどの材料の特徴と使用方法についての知識を身に付けている。 ・製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 ・製作図の見方、描き方の知識を身に付けている。 ・製作品の構想をまとめることができ、図に描き表すことができる。	【知】 A、B
			【思】	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、材料、使いやすさ、丈夫さを検討し適切な形状や寸法を決定している。	【思】 A、B
			【態】	・環境や作業の安全に配慮して製作工程を確認しながら取り組んでいる。 ・常に正しい作業と作業効率を考え、製作を進めている。	【態】 A、B、C
9 ～ 12	生物育成に関する技術	1)生物育成とは 2)作物や家畜などの特性と生物育成技術 3)生物育成のライフサイクル 4)土づくり、肥料 5)種まき、育苗と植え付け 6)定植後の管理 7)収穫 8)栽培計画	【知】	・光、大気、温度、水、土、生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。 ・計画に基づき、適正な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。	【知】 A、B
			【思】	・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的および経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討したうえで、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。	【思】 A、B
			【態】	・生物育成に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を示そうとしている。	【態】 A、B、C
9 ～ 3	材料と加工に関する技術	6)部品表と製作工程表、製作の準備 7)けがき 8)切断 9)切削 10)部品の検査、組み立て 11)接合、点検 12)仕上げ	【知】	・材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。 ・製作図をもとに、けがき、部品加工、組み立て、仕上げができる	【知】 A、B
			【思】	・加工に関する課題を明確にしながら製作を進め、適切な解決策を見いだしている。	【思】 A、B
			【態】	・環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。 ・常に正しい作業と作業効率を考え、製作を進めている。	【態】 A、B、C